



# 家庭学習 よくある疑問



なぜ家庭学習が必要なのですか

まず、学校で習ったことを復習して、知識や技能の定着を図る狙いがあります。また、自主的な学習で「わからないことがわかるようになる」「できないことができるようになる」という経験を積み重ねることや読書をする習慣を身に付けることは、学び続ける意欲を育て人生を豊かにします。

いつ学習すればいいですか

できれば家に帰ってすぐにやるのがよいのですが、部活動や習い事等、子どもによって生活のパターンが違います。大切なことは、その子にあった時間を決めて、そのリズムを定着するように協力していくことです。

学習時間のめやすとして示された時間はとてできませんか

示されている時間は目標値であり、めやすです。適した時間は一人一人の子どもによって違っているものです。たとえ時間が短くても集中して学習する習慣をつけることを第一に考えてください。

どんな場所で学習するのがいいですか

学習は自分自身のため、とは言っても特に小学生は認められ褒められることが大きな励みになります。また、安心して学習できる環境も大切です。小学生のうち、保護者の目が届く居間などもよいでしょう。テレビのスイッチをきるなど、できるだけ子どもが集中できる環境をつくりましょう。

「勉強しろ」と言ってもやるようにならないのですが

強いることや罰を与えたり褒美を与えたりという発想では学習の意欲は高まりません。やらないからと叱るのではなく、子どものがんばりを認め励まし、少しでも効果が現れた時にはそれが自分自身のためになっていることを自覚させてあげましょう。

家庭学習で保護者の役割は？

家庭学習のルールづくり、学習しやすい環境づくり、「早寝・早起き・朝ご飯」など、より良い習慣づくりの支援をすることです。また、隣で大人が読書したり、小学校のうちには音読を聞いたり答え合わせをしたりしながら、がんばりを認め励ますことを基本にします。低学年では問題を書いてあげるなどの支援も時には効果的です。

宿題だけではだめですか

宿題に取り組むことはもちろん大切です。さらに自分の理解に合わせて、苦手なことやよく分からないことを復習したり、もっと調べたいことを進んで学習したりすることが確かな学力の定着につながります。

自主的な学習とは？

自主的な学習は自分で何をやるか考えてやる学習です。自分の力を分析し、自分で目的・内容・方法等を考えて行う学習です。このように自分で考え課題を解決することは、将来にわたり自分の可能性を切り拓いていく大切な力を育てることになります。

自主的な学習で何をやっていいか困っています

どうしたらよいか悩んでいるときは、子どもが伸びる大事なステップです。焦らず応援していきましょう。今日習ったことをノートに書く、間違えた問題をやり直す、好きな文章の書き取りをするなど、担任の先生からもアドバイスをもらいながら家庭学習の幅を広げていきましょう。

家庭任せになってしまうのでは？

学校でも学習内容の例を示す、自主的な学習に取り組んだノートを紹介する等、家庭学習の充実に向けて支援していきます。子どもの豊かな成長のためには、どちらかの責任ということではなく、学校と家庭が連携していくことが大切です。

保存版

# 家庭学習のすすめ

自主的な学習への取組を目指して  
～学校と家庭が協力して家庭学習の習慣化を～

この「家庭学習ガイド」は、保護者の皆様の家庭学習についての疑問にお答えする形で、お子様の成長に合わせた家庭学習のポイントや支援の具体例を載せてあります。

学校と家庭が協力し合い、主体的に学ぶ『たくましい安曇野の子ども』を育みましょう。





安曇野市教育委員会 安曇野市校長会  
安曇野市教育会 安曇野市PTA連合会



家庭学習のポイントを教えてください	学習時間のめやすはどのくらいでしょうか	家庭でどのようなことに気をつけて支援すればよいでしょうか
<p><b>&lt;小学生&gt;</b></p> <p>①「早寝・早起き・朝ご飯」を生活の基本としましょう。</p> <p>②身の回りの整理整頓をして、学習に集中できる場と時間を作りましょう。</p> <p>③学校からのお便りなどがないか確認しましょう。</p> <p>④連絡帳を見て、宿題や明日の予定を確かめ、学習や用具の準備を親子で確認しましょう。</p> <p>⑤書くこと、話すことなど、表現して相手によりよく伝えることを大切にしましょう。子どもと学校の様子や出来事について話し合ってみましょう。</p> <p>⑥一人になって考える時間を大切にしましょう。</p> <p>⑦宿題が終わったら、わからないことや調べてみたいことを中心に自主的な学習をするようにしましょう。自分でどんなことをやっていいか見つからないときは、親子で考えたり、担任の先生に相談したりしましょう。</p> <p>※家庭学習の具体的な内容や取り組み方については各学校の「学習の手引き」を参考にしてください。</p> 	<p><b>小学1・2年</b></p> <p>いろいろなことに興味をもち、何でもやりたいと思っています。自分でできることが増えることで自信を深めていきます。大人に褒められることにより大きく成長していきます。</p> <p>○学習時間のめやす 20分～30分以上</p>	<p>(1)学習する場 テレビを消し、学習する場を整理し、集中して学習する環境を作りましょう。</p>  <p>(2)学習する時間 「〇時〇分から□時□分まで学習する」と、時間を親子で決め、子どもの宿題を見てあげましょう。1・2年生で身につけた学習習慣が中学校3年生までのもとになります。</p> <p>(3)お手伝い 子どもにお手伝いをさせ、できたときは褒めて家族の役に立ったという気持ちを持たせましょう。</p>  <p>(4)読書の習慣 親子一緒に読書をしましょう。読み聞かせでも、それぞれが自分の本を読んでもいいでしょう。読書はすべての学習の基本となります。読書が好きな子どもにしましょう。</p>
	<p><b>小学3・4年</b></p> <p>行動範囲が広がり、ますます活動が活発になります。友だちと協力してやり遂げる楽しさがわかるようになります。家族が子どもに寄り添い、一緒に行うことも時には大切です。</p> <p>○学習時間のめやす 40分～50分以上</p>	<p>(1)TVやゲームの時間 子どもの興味が広がり、TVやゲームの時間が増えがちです。子どもと相談して時間を決めましょう。</p> <p>(2)親子一緒に 時には親子一緒に取り組み、具体物や体験と結びつけ、具体的なイメージを持てるように助言していきましょう。</p>  <p>(3)「なぜだろう？」を大切に 理科、社会科の学習が始まります。自然や産業についての疑問を大切に、自分で調べる楽しさを味わわせましょう。この経験がやる気を育てます。</p>  <p>(4)宿題や明日の準備の確認 低学年でできていた習慣が段々崩れる時期でもあります。子どもに任せきりでなく、時々親が子どもと一緒に確認し、励ましましょう。</p>
		<p>(1)学習の計画 学習や生活を見直し、目標を決めて計画的に学習できるようにしましょう。</p>  <p>(2)子どもとの相談 体や友だち関係など不安を感じやすい時期です。気になることは家庭でよく話を聞いてみましょう。また心配なことは学校の先生に相談しましょう。</p> <p>(3)ニュースでの家族会議 新聞やテレビのニュースなどについて家族で話し合う機会を持ちましょう。社会への関心を持つことが自立の意識につながります。</p>  <p>(4)インターネット等の約束 インターネット等での友だちとのつながりが強くなる時期です。パソコンやゲーム機の使用に当たっては子ども任せにせず、使い方の約束を決め、それが守られているか親子で確認しましょう。</p>

**小・中学生のうちに確実に身に付けておきたい習慣や行動**

- ・家族や友達、地域の人などへのあいさつ
- ・約束やルールを守る
- ・時と場に応じた言葉遣い
- ・分からないこと、困っていることを人に相談する
- ・清掃や当番活動などに責任を持ち最後まで取り組む
- ・生命やものを大切にすること
- ・交通事故や災害などから自分の身を守る方法

<p><b>&lt;中学生&gt;</b></p> <p>① その日の授業の復習と宿題は必ずやるようにしましょう。</p> <p>② 進んで読書をし、思考力、想像力を養いましょう。</p> <p>③ 新聞やニュースを通して、社会の出来事に興味を持つように親子で会話をしましょう。</p> <p>④ 定期テストに向けて2週間ほど前から学習時間を増やし、テストに向けて学習をしましょう。</p> <p>⑤ 高校入試やその他の検定に向けての勉強も、普段の授業や家庭学習の発展として取り組みましょう。</p> <p>⑥ 部活や休日の過ごし方など、自分の生活に合わせて計画を立て、取り組みましょう。</p> 	<p><b>中学 1～3年</b></p> <p>思春期を迎え、様々な葛藤の中で自らの生き方を模索し始める時期です。親に反抗するなど、親子のコミュニケーションが不足しがちな時期でもあります。親子で共通の話題が持てるように心がけましょう。</p>  <p>○学習時間のめやす 1・2年 90分～120分以上 3年 120分～150分以上</p>	<p>(1)生活習慣の見直し 中学校に入学すると、授業時間が長くなり部活も始まるなど生活のリズムも大きく変わります。自分にあった生活の仕方を親子で話し合いましょう。</p> <p>(2)自主的な学習 宿題以外に予習や復習など自主的に学習する時間を取りましょう。自分の学習を振り返り、足りないところや伸ばしたいところを計画的・重点的に補強することが、成長につながります。また興味や関心のある事柄を深く追究することも大切です。</p>  <p>(3)自分の将来 保護者の職業観や職業選択のきっかけについて話をする機会を持ち、自分の将来について考える時間を取りましょう。高校や大学に入るのが目的ではなく、「そこで何をするか」という目的意識を持つことが大切です。</p> <p>(4)スマートフォン(携帯)などの使用の約束 スマートフォンなどで夜遅くまで通話やメールをしたり、トラブルに巻き込まれたりする中学生も出てきています。スマートフォンを持たせる場合には、親子で使用の約束を話し合いましょう。</p> 
--	--	--